

# 新型コロナウイルス禍における審判員の手順及び基本動作について

## 《関西モデル》

### はじめに

これは関西ブロック競技委員会にて、新型コロナウイルス感染防止を目的として作成したものです。原則として「一般財団法人日本ドッジボール協会」の公式ルールに則り、一部の手順及び基本動作に感染防止対策の観点から変更を加えたローカルルールになります。大会等で運用する際は、その点を踏まえた上で、各チーム及び審判員への伝達をお願い致します。また、試行段階であるため、実際の運用において改善点があれば随時更新していきたいと考えています。

関西ブロック競技委員長 本多 峻

### 【準備物】

○電子ホイッスル(ストラップ付のもの)

※笛は吹笛による飛沫拡散の可能性があるので、使用しない。

○フェイスシールド

☆フェイスシールド以外にマスクやマウスシールド等を併用するかどうかは大会ごとに定める。

☆電子ホイッスル・フェイスシールドを協会で作成するか個人で作成するかは大会ごとに定める。

## 《試合開始時の手順》

(関連項目 ルールブック P65・P127)

1) ベンチ前整列時、対戦チームのキャプテンと監督をオフィシャル席に召集して以下の点を確認する。

- ① チーム名を確認し、対戦チームに間違いがないことを記録用紙にて確認しコートマスターに告げる。
- ② 主審及びコートマスター立会いのもと、試合開始時のボールの支配権を決定する。

(支配権の決定方法は大会ごとに定める)

※集合は行わないので、挨拶や伝達事項がある場合はこの時に済ませておく。

- ③ 線審の安全確認及びユニフォームチェックはこの間に行う。
- 2) 主審は列に戻ったら、安全確認及びユニフォームチェックの報告を受ける。
- 3) コートに正対したまま挨拶を実施、その場で「セットアップ」のコールを行う。

※線審の移動は、セット間の審判整列時と同様とする。

- 4) チームの内外野の人数を数えて確認した後、副審はボールを持ったまま定位置へ移動する。
- 5) 主審はセンターサークル内で線審①、②、③、④、副審、計時員(記録)の順にて各審判員のチェックを行い、その場でボールの支配権を指示する。
- 6) 主審は定位置に戻り、**タイムイン**にて試合を開始する。

☆複数セットで試合を行う場合は、インターバルの間にキャプテンをオフィシャル席に召集し、支配権を決定する。

## 《試合終了時の手順》

(関連項目 ルールブック P66・P130)

1) 試合終了の動作を実施する。

・電子ホイッスル「ピッピーツ」

2) 人数確認、及び記録への報告を実施する。

3) 主審はセンターサークル後方に移動して試合の勝敗を告げ、その場で挨拶した後、所定の退場口へ誘導する。(複数セットの場合、各セット間はベンチバックのコールを行う)

《手順例》「〇〇の勝ちです。」「その場で挨拶した後、速やかに退場口へ移動してください。」

## ヴィクトリー(V)ポイントゲームを行う場合

ジャンプボールは実施しない。ヴィクトリー(V)ポイントゲームを実施することを告げたら、両チームのキャプテンをオフィシャル席前に召集し、試合開始時と同様にボール支配権を決定する。

## 《基本動作》

(関連項目 ルールブック P48～P56・P106～P114)

○電子ホイッスルは、音の出る部分をプレイヤーまたはコートに向けて使用する。

※電子ホイッスルは試合中に落下しないよう、使用する側の手首に固定する。

○コールは普通に話す程度の声量で行う。

### 【主審】

1) 電子ホイッスルの音の使い分けについて

統一基本動作に準じる。

※電子ホイッスルは種類によって、音の大きさや鳴り方、ボタンの形状等が異なるので試合前に確認する。

2) 動作・姿勢について

統一基本動作に準じる。

3) 主審の動作

#### ①アウト

・手の動作 電子ホイッスルで当該プレイヤーを指す。腕は肩の高さで床と水平に伸ばす。

・姿勢 統一基本動作に準じる。

・音 「ピッ」

・コール 「○番アウト」とプレイヤーに伝わる声でコールする。選手番号は極力確認しコールすること。

#### ②オフィシャルタイムアウト

・手の動作 電子ホイッスルをコートに向けて鳴らした後、視界を塞がないよう目線よりやや下で、左(右)掌に右(左)手指先を垂直に当て「T字」の形を作る。

・音 「ピーツ」

・コール 「タイム」話す程度の大きさではっきりと。

#### ③試合終了

・手の動作 両腕を斜め上方に上げ、電子ホイッスルを鳴らしながらインプレイゾーンに入り、プレイを停止させる。動作の完了形は統一基本動作に準じる。

・音 「ピッピーツ」

・コール コール無し。

#### ④ジャンプボール → 実施しない。

#### ⑤アウト・オブ・バーズ

・手の動作 電子ホイッスルはコートに向け、腕は肩の高さで床と水平に伸ばす。反対の腕は「アウト・オブ・バーズ」の統一基本動作に準じる。

・音 「ピーツ」

・コール なし。

⑥続行 → 統一基本動作に準じる。

⑦パスカウント

- ・手の動作 電子ホイッスルを持っていない方の腕を天に垂直に上げカウントする。  
☆腕が視界を遮らないように体の向きを工夫する。

⑧支配権の指示

- ・手の動作 統一基本動作に準じる。電子ホイッスルを持っている方のエリアを示す場合は、電子ホイッスルの先端で各エリアを示す。
- ・音 なし。
- ・コール 「〇〇、〇〇ボール」話す程度の大きさではっきりと。

⑨タイムイン

- ・手の動作 ボールアップしているプレイヤーに電子ホイッスルを向け、音を鳴らすと同時に、肘を概ね90度手前方向に曲げる。
- ・音 「ピッ」
- ・コール なし。

⑩セーフ → 統一基本動作に準じる。

⑪ファール

〔動作の無いもの〕

- ・手の動作 電子ホイッスルを前方に向け、腕は肩の高さで床と水平に伸ばす。反対の腕は天に垂直に上げる(掌は自分の体と同じ前向き)。その後、ファールを犯したプレイヤーに対しアウトと同様の動作を行う。
- ・音 「ピーッ」手の動作と同時に長く鳴らす。
- ・コール ファール名をコールする。

〔動作のあるもの〕

- ・手の動作 電子ホイッスルを前方に向け、腕は肩の高さで床と水平に伸ばす。反対の腕は天に垂直に上げる(掌は自分の体と同じ前向き)。その後、ファール名に準じた動作を続けて行う。
- ・音 「ピーッ」手の動作と同時に長く鳴らす。
- ・コール ファール名をコールする。

⑪-1. オーバーライン

- ・手の動作 ファール動作の後、オーバーラインの動作を続けて行う。
- ・音 「ピーッ」手の動作と同時に長く鳴らす。
- ・コール 「オーバーライン」とコールする。

- ⑪-2. ファイブパス → 統一基本動作に準じる。
- ⑪-3. ホールディング → 統一基本動作に準じる。
- ⑪-4. タッチ・ザ・ボディー → 統一基本動作に準じる。

⑪-5. ダブルパス

- ・手の動作 ファール動作の後、ダブルパスの動作を続けて行う。
- ・動作順序 電子ホイッスルを持っていない腕を斜め上方(概ね 45 度)に上げ、パスカウント 2 回の状態を作る。電子ホイッスルを持っている方の腕で投球動作を行う。
- ・音 「ピーツ」先の手の動作と同時に長く鳴らす。
- ・コール 「ダブルパス」とコールする。

⑪-6. ダブルタッチ

- ・手の動作 ファール動作の後、ダブルタッチの動作を続けて行う。
- ・動作順序 電子ホイッスルを持っていない腕を斜め上方(概ね 45 度)に上げ、パスカウント 2 回の状態を作る。電子ホイッスルの先端をカウント表示の手に重ねる。
- ・音 「ピーツ」手の動作と同時に長く鳴らす。
- ・コール 「ダブルタッチ」とコールする。

- ⑪-7. ヘッドアタック → 統一基本動作に準じる。

**【副審】**

1) 動き方・姿勢について

統一基本動作に準じる。

2) 判定について

①統一基本動作に準じる。

②基本動作は主審に準じる。

③副審のアウト・オブ・バーンズ

・主審に続いてアウト・オブ・バーンズの動作をする場合は、通常の基本動作を行う。

③副審のアドバンテージ

・ファール動作と同様に、電子ホイッスルを前方に向け、腕は肩の高さで床と水平に伸ばす。反対の腕は天に垂直に上げる。

・電子ホイッスル、コールなし

3) オフィシャルタイムアウトについて

体の前方(やや上方)で電子ホイッスルを鳴らしながら扇状に振り、インプレイゾーンに入る。

「ピーツ」・「タイム」

※統一基本動作に比べ、電子ホイッスルであることや大きな声が出せないことで、主審の判定が伝わりにくい場合があることに注意する。

## 【線審】

### 1) 動き方・姿勢について

統一基本動作に準じる。

### 2) 判定について

※判定の際、旗を持たないため、通常よりも主審が視認しにくいことに注意する。

### 3) オフィシャルタイムアウトについて

体の前方(やや上方)で電子ホイッスルを鳴らしながら扇状に振り、インプレイゾーンに入る。

「ピーツ」・「タイム」

### 4) 電子ホイッスルの使い方

☆旗は使用せず、電子ホイッスルを旗と同様に扱う。

### 5) 線審の動作

#### ① ワンタッチ

・手の動作 右(左)手に握った電子ホイッスルを頭上に上げ、電子ホイッスルの先端部に反対側の掌を当てる。

・コール 「〇番ワンタッチ」とコールする。

#### ②-1. ノータッチ A

・手の動作 右(左)手に握った電子ホイッスルを天に垂直に上げる。

・コール なし。

#### ②-2. ノータッチ B

・右(左)手に握った電子ホイッスルを天に垂直に上げるとともに、もう一方の掌を胸におく。

・コール なし。

#### ③ ファール

〔動作のないもの〕

・手の動作 ファールを犯したプレイヤーに向かって電子ホイッスルを指す。

〔動作のあるもの〕

・手の動作 ファールを犯したプレイヤーに向かって電子ホイッスルを指した状態で、ファール名に準じた動作を続けて行う。

## 《補足》

■プレイヤーを座らせる場合はルールブック通りその場に座らせる。(特に指示する必要はない)

■6審で協議する際は、センターサークル上で協議する。(密にならない程度の距離を保つ)

■指導や罰則によるカード提示を行う場合は、センターサークル後方で行う。